

時間割番号	科目名[英文名]	単位数
R2	地域資源管理論[Theory of Regional Resources Management]	1
担当教員(責任)[ローマ字表記]		
山田 容三[YAMADA Yozo]		
担当教員[ローマ字表記]		
山田 容三[YAMADA Yozo]		

授業題目(必須入力)

地域資源管理論[Theory of Regional Resources Management]	
--	--

授業のキーワード(必須入力)

森林資源 (Forest resource) 森林環境 (Forest environment) 林業労働力 (Forestry labor) 地域社会 (Regional community) 持続可能な森林管理 (Sustainable forest management)	
---	--

授業の目的(必須入力)

地域における「森林と人間の共生」に関する理解を深め、持続可能な森林管理と生物多様性の保全を踏まえた森林計画と木材生産に関する基礎的な知識を習得することを目的とする。	
--	--

授業の到達目標(必須入力)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 森林資源の経済的な持続に関する課題を理解する 2. 森林環境の健全性と多様性の維持に関するポイントを理解する。 3. 林業労働の安全性と作業技術の向上に関する課題を理解する。 4. 学習した知識を総合して個別の地域資源管理の手法を検討する力を養う。 5. ディスカッションとディベートを通してより深く考察する力を身につける。 	
---	--

ディプロマ・ポリシー(卒業時の到達目標)／共通教育の理念・教育方針に関わる項目

<p>(知識・理解) 生物生産技術の開発と普及、生物資源の利用と管理、環境の保全と創生などに関する高度な専門知識と技術を修得している。</p> <p>(思考・判断) 循環型社会の構築の観点から、地域社会や国際社会における食料、資源、環境に関連する諸課題の原因を論理的考察に基づいて説明し、有効な解決策を見出すことができる。</p>	
---	--

授業概要(必須入力)

<p>地域資源としての森林を、木材を生産する場としての森林資源、森林の多面的機能の発揮を促進する場としての森林環境、それらを手入れ管理する主体としての林業労働力の3つの視点から捉え、それぞれ資源と経済的な持続、健全性と多様性の持続、安全性と技術の持続の課題とポイントについて概説し、持続可能な森林管理を総合的に実現するための森林計画とゾーニングについて演習する。また、森林からの産物やサービスを楽しむ地域社会と森林の関係を考察し、レポート作成とプレゼンテーション、ならびにディベートを通して地域資源管理の理解を深める。</p>	
---	--

授業スケジュール(必須入力)

第1講 森林資源の持続 1-1 林内路網と機械作業システム 1-2 労働生産性と伐出コスト 1-3 用材とバイオマスエネルギー利用 第2講 森林環境の持続 2-1 環境倫理、森林美学、環境への配慮 2-2 森林の多面的機能と生態系サービス 2-3 森林レクリエーション 第3講 林業労働力の持続 3-1 林業労働力と技術教育 3-2 林業労働安全と労働環境の改善 3-3 ヒューマンファクターと生産性 第4講 地域資源管理 4-1 森林計画とゾーニング 4-2 地域社会と木材のサプライチェーン 4-3 レポート作成とディベート	
---	--

授業時間外学習にかかわる情報(必須入力)

次回講義箇所の教科書による予習	
-----------------	--

成績評価方法(必須入力)

レポート評価(プレゼンテーションを含む): 80% 授業への取り組み: 20%	
--	--

受講条件(任意入力)

--	--

受講のルール(任意入力)

質問をたくさんして、受講生同士の理解を深める努力をしてほしい。	
---------------------------------	--

教科書(購入する必要がある図書)(必須入力)

教科書	書名	森林管理の理念と技術: 森林と人間の共生の道へ		ISBN	978-4-8122-0945-5
教科書1	著者名	山田容三	出版社	昭和堂	出版年 2009年
教科書2	書名			ISBN	
	著者名		出版社	出版年	

参考書(購入する必要はないが、推奨する図書)(必須入力)

参考書	書名	森への働きかけ: 森林美学の新体系構築に向けて		ISBN	978-4-86099-236-1
参考書1	著者名	湊 克之ら	出版社	海青社	出版年 2010年
参考書2	書名			ISBN	
	著者名		出版社	出版年	

教科書・参考書に関する補足情報(必須入力)

必要に応じてプリントを配布する。	
------------------	--

オフィスアワー(必須入力)

基本的に、講義終了後2時間程度。しかし、連絡があればいつでも可。	
----------------------------------	--

連絡先(必須入力)

--	--

yamada.yozo.fi@ehime-u.ac.jp

参照ホームページ(任意入力)

その他(任意入力)